

平成28年度
九州工業大学
一般入試学生募集要項

国立大学法人
九州工業大学
<http://www.kyutech.ac.jp/>

添付書類について

本要項の巻末に、次の書類等を日程ごとの封筒に入れ綴じ込んでいます。

出願の際には、《前期日程用》と《後期日程用》の書類を混同しないように注意してください。

【前期日程】用

1. 平成28年度九州工業大学入学願書〔工学部〕
(受験票, 写真票を含む)
2. 平成28年度九州工業大学入学願書〔情報工学部〕
(受験票, 写真票を含む)
3. 入学検定料払込用紙
4. あて名票
5. 受験票交付用返信封筒
6. 入学願書等提出用封筒〔角形2号〕

【後期日程】用

1. 平成28年度九州工業大学入学願書〔工学部〕
(受験票, 写真票を含む)
2. 平成28年度九州工業大学入学願書〔情報工学部〕
(受験票, 写真票を含む)
3. 入学検定料払込用紙
4. あて名票
5. 受験票交付用返信封筒
6. 入学願書等提出用封筒〔角形2号〕

※上記の書類等とは別に、九州工業大学 生活協同組合の「受験宿泊ガイド」(前期日程・後期日程あわせて1部)を同封しています。宿泊希望の方は利用してください。

一般入試試験日程等

日程 事項	前期日程	後期日程
出願期間	平成28年1月25日(月)～2月3日(水)	
受験票発送	2月12日(金)頃 発送	
個別学力検査	2月25日(木)	3月12日(土)
合格者発表	3月 7日(月) 10時	3月21日(月) 10時
合格通知書発送	3月 7日(月) 発送	3月21日(月) 発送
入学手続	3月14日(月) 〔3月15日(火)〕 21ページ参照	3月25日(金) 〔3月26日(土)〕 21ページ参照

目 次

九州工業大学のアドミッションポリシー	1
I. 募集要項	2
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願期間	3
4. 学部・学科の志望方法	3
5. 出願手続	4
6. 出願上の注意事項	5
7. 障害等を有する入学志願者の事前相談	6
8. 国公立大学入学試験合格者の取扱い	7
9. 入学者選抜方法	8
10. 試験日時及び試験場	18
11. 受験上の注意事項	18
12. 合格者発表	20
13. 入学手続	21
14. 入学手続時の納付金	22
15. 追加合格	22
16. 入学試験成績等の開示	23
17. 個人情報の取扱い	23
18. 入学願書等記入要領	24
19. 入学試験に関する問い合わせ先	34
20. 安全保障輸出管理について	34
21. 志願状況	34
II. 欠員補充第2次募集	35
◆奨学金制度等	35
◆各学部のアドミッションポリシー	
工学部	37
情報工学部	41
◆過去3か年の一般入試実施状況	45
◆九州工業大学の所在地	46
工学部（戸畑キャンパス）	47
情報工学部（飯塚キャンパス）	48

九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

【技術者としての育成目標】

九州工業大学は、幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念とし、開学以来掲げてきた「技術に堪能なる士君子」、すなわち、深い専門性、幅広い知識と教養、説明・記述力を含むコミュニケーション力と技術者倫理を備え、情報・生命・環境・エネルギー・宇宙を含む新しい技術と科学の発展において、国際的に活躍できる専門技術者を育成します。

【求める学生】

理工学分野の基礎となる、数学、物理、化学、情報などの理数系科目に特に興味があり、これらの科目の基礎学力を持っているとともに、国際化に対応できるコミュニケーション能力の習得や様々な文化の理解に興味を持っている、次のような皆さんの入学を期待します。

1. 科学と技術に強い関心を持つ人
2. 物事をじっくり考え、興味深い現象の発見や問題解決に意欲を持つ人
3. 人類の幸福に役立つ、新しい技術・システムの創出に挑戦したい人
4. 国際社会や地球環境に配慮することの大切さを認識している人

【入学者の選抜方針】

入学者の選抜にあたっては、基本的には理工学の基本となる基礎学力と理数系の思考力・応用力を見ますが、異なる選抜方法によって、多様な資質を持つ皆さんを広く受け入れます。なお、一部の科目に学力の不足がある場合も、入学後の修学に支障を来たさぬよう、初年次教育などにおいて配慮します。

【前期日程試験による受け入れ】

理数系科目を中心に、総合的に学力の優れた人を受け入れます。

【後期日程試験による受け入れ】

修学に必要な基礎学力を備え、理数系の特定の科目に優れた能力を示す人を受け入れます。

I. 募集要項

1. 募集人員

学部	学 科	入学定員	募集人員		(参 考)	
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ
工 学 部	機械知能工学科	140名	63名	56名	18名	3名
	建設社会工学科	80名	38名	32名	8名	2名
	電気電子工学科	130名	58名	44名	26名	2名
	応用化学科	70名	35名	20名	13名	2名
	マテリアル工学科	60名	30名	20名	8名	2名
	総合システム工学科	51名	22名	17名	10名	2名
	小 計	531名	246名	189名	83名	13名
情 報 工 学 部	知能情報工学科	88名	50名	20名	18名	
	電子情報工学科	88名	47名	24名	15名	2名
	システム創成情報工学科	78名	36名	22名	16名	4名
	機械情報工学科	78名	36名	24名	14名	4名
	生命情報工学科	78名	40名	20名	18名	
	小 計	410名	209名	110名	81名	10名
合 計		941名	455名	299名	164名	23名

(注) 推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱの合格者がそれぞれの募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の合格者で補充します。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ第1志望の学部・学科が指定する平成28年度大学入試センター試験の全教科・科目(10～17ページを参照)を受験した者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び平成28年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記⑧により出願しようとする者は、事前に入学資格の審査を受けなければなりません。入学資格審査に関する手続等については、九州工業大学学務部入試課入試実施係(093-884-3056)へ問い合わせるか、九州工業大学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/examination/s/criterion/>)を参照してください。

3. 出願期間

平成28年1月25日(月)から平成28年2月3日(水)まで(17時必着)

※ 前期日程及び後期日程とも出願期間は同じです。

4. 学部・学科の志望方法

- (1) 志望することができる学部・学科は、2ページの「1. 募集人員」の表のとおりです。
なお、出願後は、志望学部・学科の変更はできません。
- (2) 志望学科については、第3志望まで記入することができます。ただし、同一学科を重複して志望したり、学部間にまたがって学科を志望することはできません。
なお、第3志望についてのみ志望学科を「特定しない」とすることができます。
- (3) 受験科目についての留意事項
- ① 前期日程
情報工学部の前期日程の理科は、出願時に物理、化学、生物から1科目を選択してください。
なお、情報工学部知能情報工学科を第1志望とする者は、「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」を、電子情報工学科及び機械情報工学科を第1志望とする者は、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。ただし、知能情報工学科、電子情報工学科及び機械情報工学科を第2志望又は第3志望とする場合は、この限りではありません。(14～17ページ参照)
- ② 後期日程
後期日程は、解答する科目を試験当日に問題を見て決定できます。
- (ア) 工学部機械知能工学科を志望する者で、受験科目で理科を選択する場合は、志望順位にかかわらず、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。
- (イ) 工学部電気電子工学科を第1志望とする者で、受験科目で理科を選択する場合は、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。ただし、電気電子工学科を第2志望又は第3志望とする場合は、この限りではありません。(10～13ページ参照)

5. 出願手続

(1) 出願書類

本学の前期日程と後期日程を併願する者は、それぞれ日程ごとに次に掲げる書類等を提出してください。

なお、必要書類に不足等がある場合は、出願を受け付けることができませんので、注意してください。

① 入学願書

本学所定（本要項綴じ込み）の用紙に志願者本人が記入したもの。

なお、記入の際は24～25ページの「入学願書等記入要領」を熟読の上、記入してください。

※ 前期日程、後期日程及び志望学部で用紙が異なりますので注意してください。

② 平成28センター試験成績請求票

大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」（前期日程に出願する場合は、「前」・国公立前期日程用）を、後期日程に出願する場合は、「後」・国公立後期日程用）を入学願書の所定欄に貼り付けてください。

平成28センター試験成績請求票の再発行を受けた者は、再発行後の平成28センター試験成績請求票を貼ってください。

③ 調査書

文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。

なお、指導要録の保存期間が経過したもの及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績通信簿を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者等は、その合格証明書及び成績証明書又はその資格を証明する書類をもって代えてください。また、高等学校等に在籍したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書をあわせて提出してください。

④ 入学検定料

17,000円

ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口振込又は、コンビニエンスストアで支払ってください。

振込みは、1月18日（月）から2月3日（水）までの期間に行ってください。

〈ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口で振込む場合〉

本学所定（本要項綴じ込み）の「入学検定料払込用紙（前期日程用または後期日程用）」により、ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口で振込みのうえ、「検定料納入証明書（受付局日附印が押されたもの）」を必ず受け取り、検定料納入証明書貼付台紙に貼り付けてください。

〈コンビニエンスストアで支払う場合〉

本学所定（本要項綴じ込み）の払込用紙は使用しません。

コンビニエンスストアで支払い、受領した「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料納入証明書貼付台紙に貼り付けてください。

支払い方法の詳細については、33ページを参照してください。

※ 前期日程と後期日程の両方に出願する場合は、それぞれに入学検定料を納付してください。

※ 入学検定料の払込みは、ATM（現金自動預払機）を利用しないでください。

※ 入学検定料の納入後は、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合以外は、一切返還できません。（なお、上記の出願無資格者に対する返還金額は13,000円です。）

・東日本大震災における被災受験者に対する平成28年度入学検定料免除措置について

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）で確認の上、出願の前に、あらかじめ入試課（093-884-3056）までお問い合わせください。

なお、申請が認められた場合は、出願時に検定料は振り込まないでください。

⑤ 写真

1枚（縦4cm×横3cm）

上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼り付けてください。

なお、裏に志望学部及び氏名を記入してください。

⑥ **あて名票**

志願者本人が合格通知等を受け取る際の郵便番号、住所、氏名等を記入してください。

⑦ **受験票交付用返信封筒**

本学所定（本要項綴じ込み）の封筒に、362円分の切手を貼り付けてください。

(2) **提出先**

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

九州工業大学学務部入試課入試実施係

電話 093-884-3056

(3) **提出方法**

出願書類等を郵送する場合は、本学所定（本要項綴じ込み）の封筒により「速達簡易書留郵便」で郵送してください。（平成28年1月25日（月）～平成28年2月3日（水）17時必着）

出願書類等を持参する場合は、上記の提出先に提出してください。受付時間は9時から17時までです。ただし、土・日・祝日は除きます。

6. 出願上の注意事項

- (1) 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つを選び、合計二つの大学・学部に出願することができます。
従って、本学の「前期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に出願することができます。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。
※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照してください。
- (2) 第1志望の学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、出願できません。出願受付後に第1志望の学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、個別学力検査を受験することができないので、その旨本人あてに通知します。
- (3) 受理した提出書類は、いかなる理由があっても返還できません。
- (4) 受理した入学検定料は、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合以外は、一切返還できません。
- (5) 出願書類の記載事項に記入もれ等不備がある場合は、受け付けられません。
- (6) 出願書類に虚偽の記載が認められた者は、合格者発表後でも合格を取り消すことがあります。
- (7) 受験票は、2月12日（金）頃に速達郵便で発送します。2月16日（火）までに届かない場合は、学務部入試課入試実施係まで連絡してください。
- (8) 出願後に住所等を変更した場合は、速やかに学務部入試課入試実施係まで連絡してください。
- (9) 本学に入学を志願する者で、障害等がある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。
詳細は、6ページの「7. 障害等を有する入学志願者の事前相談」を参照してください。

7. 障害等を有する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、障害（下表参照）等がある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、代筆解答を希望する者は、できるだけ早い時期に事前相談をしてください。

（1）事前相談の期限

原則として平成28年1月6日（水）まで

なお、相談の期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は、ただちに（3）の連絡先に問い合わせてください。

相談の内容や時期によっては、本学の試験日までに対応できず、受験上の配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

（2）事前相談の方法

事前相談申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出してください。なお、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

事前相談申請書は、下記連絡先に請求してください。

（3）連絡先

九州工業大学学務部入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者 (強度の弱視者を含む。)	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴覚障害者 (強度の難聴者を含む。)	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病弱者 (身体虚弱者を含む。)	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

※ 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠

(注) 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

8. 国公立大学入学試験合格者の取扱い

- (1) 国公立大学の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦入学辞退手続きにより、平成28年2月17日（水）までに入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の前期日程試験及び後期日程試験を受験しても入学許可を得ることができません。
- (2) 「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続きを完了した者は、「後期日程」の大学・学部（本学を含む。）を受験しても、それらの大学・学部の合格者とはなりません。
- (3) 一つの国公立大学・学部に入學手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。
合格者が所定の入学手続締切期日〔前期日程にあつては平成28年3月15日（火）、後期日程にあつては3月26日（土）〕までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

9. 入学者選抜方法

(1) 選考方法

入学者の選考は、大学入試センター試験の成績と本学が行う個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。ただし、第1志望の学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、本学の個別学力検査を受験することができません。

なお、大学入試センター試験の成績は、平成28年度大学入試センター試験の成績を用いるものとします。平成27年度以前の成績は利用できませんので、注意してください。

(2) 採点・評価基準及び合否判定基準

	採点・評価基準	合否判定基準
工学部	<p>【前期日程・後期日程】 入学後の工学専門教育の勉学に適応できる基礎学力の達成度を採点・評価の基準とします。そのために、理科（物理と化学）と数学の各科目の範囲から基礎的な事項を出題し、思考力、計算力及び論述力を調べます。</p>	<p>【前期日程・後期日程】 大学入試センター試験の得点及び個別学力検査等の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。 同点の場合は特定科目の点数の順とします。</p> <p>【後期日程】 後期日程については、1教科選択のために数学・物理・化学の科目間で著しい差が生じた場合は得点の調整を行うこともあります。</p>
情報工学部	<p>【前期日程・後期日程】 入学後の情報工学専門教育の勉学に適応できる基礎学力の達成度を採点・評価の基準とします。そのために、理科（物理、化学、生物（前期日程のみ））と数学の各科目の範囲から基礎的な事項を出題し、思考力、計算力及び論述力を調べます。</p>	<p>【前期日程】 大学入試センター試験の得点及び個別学力検査等の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。 同点の場合は特定科目の点数の順とします。 第2志望以下から合格させる場合は、個別学力検査の理科の科目指定にかかわらず選択した科目を用います。 物理・化学・生物の科目間で得点の調整を行います。</p> <p>【後期日程】 大学入試センター試験の得点及び個別学力検査等の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。 同点の場合は特定科目の点数の順とします。 数学・物理・化学の科目間で得点の調整を行います。</p>

(3) 平成28年度九州工業大学入学者選抜の実施教科・科目等について

各学部・学科が課す大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目、配点は、① 工学部 10～13ページ、② 情報工学部 14～17ページのとおりで。

大学入試センター試験の「地理歴史」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績は、第1解答科目の得点を用います。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

(4) 平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置について

平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者（下表参照）のために出題科目として残る「工業数理基礎」については、利用を認めます。

なお、新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できません。

旧課程履修者について

新教育課程履修者	<ul style="list-style-type: none">高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

① 工学部

学部・学科等名 及び入学定員等 平成27年度 〔 志願倍率 〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選 抜
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	
工学部 〔3.0〕 531名 前 期 246 後 期 189 その他 96	機械知能工学科 140名 前 期 63 後 期 56 その他 21	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (5教科7科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B 物理基礎・物理と化学基礎・化学	
		後期 3月 12日 理科 外国語	国語 数学 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (4教科6科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・ 数学 B } 1教科 物理基礎・物理 選 択	
	建設社会工学科 80名 前 期 38 後 期 32 その他 10	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (5教科7科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B 物理基礎・物理と化学基礎・化学	
		後期 3月 12日 理科 外国語	国語 数学 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (4教科6科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・ 数学 B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 選 択	
	電気電子工学科 130名 前 期 58 後 期 44 その他 28	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (5教科7科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B 物理基礎・物理と化学基礎・化学	
		後期 3月 12日 理科 外国語	国語 数学 数学 I・数学Aと 数学 II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 (4教科6科目)	数学 理科	数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・ 数学 B } 1教科 物理基礎・物理 選 択	

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特 別 の 入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配 点 合 計	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
工学部	応用化学科 70名 前期 35 後期 20 その他 15	前期 2月 25日	国語	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理と化学基礎・化学	
			地歴 公民 数学				
		後期 3月 12日	国語	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択	
			理科 外国語				
	マテリアル工学科 60名 前期 30 後期 20 その他 10	前期 2月 25日	国語	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理と化学基礎・化学	
			地歴 公民 数学				
	後期 3月 12日	国語	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択		
		理科 外国語					
総合システム工学科 51名 前期 22 後期 17 その他 12	前期 2月 25日	国語	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理と化学基礎・化学		
		地歴 公民 数学					
	後期 3月 12日	国語	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択		
		理科 外国語					

(注) 1. 大学入試センター試験の利用教科・科目名欄について

- (1) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (2) 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合は、出願できません。
- (3) 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。
※「英語」の配点内訳は、前期日程が、筆記試験160点、リスニング40点、後期日程が、筆記試験80点、リスニング20点とします。
また、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験（前期日程は200点満点、後期日程は100点満点）の得点のみを利用します。
なお、大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は、出願できません。

2. 個別学力検査について

- (1) 数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- (2) 後期日程において、機械知能工学科を志望する者で、受験科目で理科を選択する場合は、志望順位にかかわらず、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。
- (3) 後期日程において、電気電子工学科を第1志望とする者で、受験科目で理科を選択する場合は、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。ただし、電気電子工学科を第2志望又は第3志望とする場合は、この限りではありません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特 別 の 入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配 点 合 計	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	
センター試験	200	100		200	200	200	900	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				400	400		800	
計	200	100		600	600	200	1700	
センター試験	100			200	200	100	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			700		100	900	

② 情報工学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選 抜
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	
情報工学部 〔3.3〕 410名 前 期 209 後 期 110 その他 91	知能情報工学科	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理, 化学, 生物, 地学から2科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔5教科7科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理又は化学基礎・化学	
		後期	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理, 化学, 生物, 地学から2科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔4教科6科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択	
	電子情報工学科	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔5教科7科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理	
		後期	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と化学 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔4教科6科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択	
	システム創成情報工学科	前期	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と 化学, 生物から1科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔5教科7科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 から1科目	
		後期	国語 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と 化学, 生物から1科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔4教科6科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B } 1教科 物理基礎・物理又は化学基礎・化学 } 選 択	

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特 別 の 入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配 点 合 計	
センター試験	150	50		100	100	200	600	推薦Ⅰ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	300		600	
計	150	50		400	400	200	1200	
センター試験	100			150	150	200	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			600		200	900	
センター試験	150	50		100	100	200	600	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	300		600	
計	150	50		400	400	200	1200	
センター試験	100			150	150	200	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			600		200	900	
センター試験	150	50		100	100	200	600	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	300		600	
計	150	50		400	400	200	1200	
センター試験	100			150	150	200	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			600		200	900	

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
情報工学部	機械情報工学科 78名 前期 36 後期 24 その他 18	前期 2月 25日	国語	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理と 化学, 生物から1科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔5教科7科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理	
			国語 数学				
	生命情報工学科 78名 前期 40 後期 20 その他 18	前期 2月 25日	国語	国語 世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」 数学Ⅰ・数学Aと 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から 1科目 理科 物理, 化学, 生物, 地学から2科目 外国語 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 〔5教科7科目〕	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 から1科目	
			国語 数学				

(注) 1. 大学入試センター試験の利用教科・科目名欄について

- (1) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (2) 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合は、出願できません。
- (3) 理科については、第2志望又は第3志望で選考する場合、指定科目にかかわらず第1志望の選考で用いた科目を用います。
- (4) 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。
※「英語」の配点内訳は、筆記試験160点、リスニング40点とします。リスニングを受験しなかった者については、リスニングは0点とし、筆記試験のみの成績(160点満点)を利用します。
なお、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験のみの成績を、200点満点として利用します。

2. 個別学力検査について

- (1) 数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- (2) 前期日程において、知能情報工学科を第1志望とする者は、「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」を、電子情報工学科及び機械情報工学科を第1志望とする者は、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。
ただし、知能情報工学科、電子情報工学科及び機械情報工学科を第2志望又は第3志望とする場合は、この限りではありません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特 別 の 入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配 点 合 計	
センター試験	150	50		100	100	200	600	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	300		600	
計	150	50		400	400	200	1200	
センター試験	100			150	150	200	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			600		200	900	
センター試験	150	50		100	100	200	600	推薦Ⅰ 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	300		600	
計	150	50		400	400	200	1200	
センター試験	100			150	150	200	600	
個別学力検査				300 (数学又は理科)			300	
計	100			600		200	900	

10. 試験日時及び試験場

(1) 試験日時

試験日程	試験日	教科・科目等	試験時間
前期日程	2月25日(木)	物理又は生物	10:00~11:40
		数学	13:00~15:00
		化学	16:00~17:40
後期日程	3月12日(土)	数学又は理科	10:00~12:00

(2) 試験場

試験日程	試験日	学部	試験場
(注) 前期日程	2月25日(木)	工学部	工学部(戸畑キャンパス) 北九州市戸畑区仙水町1番1号
		情報工学部	
後期日程	3月12日(土)	工学部	工学部(戸畑キャンパス) 北九州市戸畑区仙水町1番1号
		情報工学部	情報工学部(飯塚キャンパス) 飯塚市川津680番4

(注) 情報工学部志願者は、前期日程と後期日程で試験場が異なるので注意してください。
前期日程試験は、戸畑キャンパスのみで実施し、飯塚キャンパスでは実施しません。

11. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

① 前期日程は2月24日(水)の午後から、後期日程は3月11日(金)の午後から、試験室及び注意事項等を各試験場に掲示しますので、受験生は必ず各自の試験室を確認しておいてください。

ただし、建物内及び試験室内には入れません。

(2) 試験当日の注意事項

① 受験の際には、本学の受験票及び大学入試センター試験受験票の両方を必ず持参してください。
また、大学入試センター試験の受験票は、入学手続の際に必要なので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

② 試験当日は、試験開始時刻の30分前までに集合してください。

※ 前期日程で情報工学部を志願する者のうち、理科の科目について「化学」を選択する場合は、「数学」の試験開始前30分(12:30)までに集合してください。

③ 遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後30分です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により、試験開始後30分以上遅刻した場合は、必ず試験場本部に申し出てください。

④ 後期日程では、試験開始後、各学科が指定する教科から1教科選択して解答することになりますが、特に工学部志願者で機械知能工学科及び電気電子工学科を志望する場合は、志望学科が指定する科目を間違わないように注意してください。

詳細は、3ページの「4. (3) 受験科目についての留意事項」を参照してください。

- ⑤ 本学の受験票を紛失した場合は、受験する試験場本部で仮受験票の発行を申し出てください。

(3) 試験時間中の注意事項

① 受験票等所持品の扱い

- (ア) 「本学の受験票」「大学入試センター試験受験票」のほか試験時間中、机の上に置くものは、「黒鉛筆」「シャープペンシル」「定規」「鉛筆削り」「コンパス」「プラスチック製の消しゴム」「時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）」「目薬」です。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- (イ) 「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「腕時計型端末」「スマートフォン」「ICレコーダー」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為になります。
- (ウ) 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。
- (エ) 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

② 解答用紙記入

- (ア) 受験番号が正しく記入されていないと、採点できないことがあります。
- (イ) 解答には、必ず「黒鉛筆」「シャープペンシル」「プラスチック製の消しゴム」を使用してください。

③ 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とあります。

④ 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、不正防止のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

⑤ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

(4) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目を無効とします。

- (ア) 入学願書、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。
- (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (キ) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- (ク) 試験時間中に使用を禁じられた補助具を使用して問題を解くこと。
- (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 前ページ(4)①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前ページ(4)①と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
 - (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - (カ) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

12. 合格者発表

(1) 日時及び場所

試験日程	日 時	場 所
前期日程	平成28年 3月 7日(月) 10時	戸畑キャンパス及び 飯塚キャンパス内の 掲示板
後期日程	平成28年 3月21日(月) 10時	

合格者を上記掲示板に掲示するとともに、合格者に「合格通知書」等を郵送します。

また、同日午前10時頃より、以下の本学ホームページの合格発表サイト上に合格者の受験番号を掲載する予定です。

[http:// ippan-goukaku.jimu.kyutech.ac.jp/](http://ippan-goukaku.jimu.kyutech.ac.jp/)

電話等による合否の問い合わせには応じられません。

(注) 大学の周辺で本学とは関係のない業者が合否電報等の申し込みを受け付けていることがありますが、これらの合否関係の連絡について大学は責任が持てませんので注意してください。

(2) 合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されますので、ご了承ください。

(例) 吉 → 吉 廣 → 廣 角 → 角

13. 入学手続

(1) 手続方法

入学手続きは、本学所定の封筒に提出書類を封入し、手続きを行ってください。

なお、入学手続きを郵送で行うと、郵送期限までに到着しないおそれがあるときには、持参により手続きを行ってください。

郵送により手続きを行う場合

本学指定の封筒により「速達書留郵便」にて次のとおり手続きを行ってください。

① 郵送期限

前期日程：平成28年3月14日（月）16：30必着

後期日程：平成28年3月25日（金）16：30必着

② 送付先（工学部及び情報工学部共に以下のとおりです。）

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

九州工業大学学務部入試課入試実施係

電話 093-884-3056

持参により手続きを行う場合

本人若しくは代理の者が、下記の手続日時及び手続場所所定の手続きを行ってください。

なお、やむを得ない事情により、下記に示した手続日時に入学手続ができない場合は、下記の手続場所に事前に電話連絡のうえ、

前期日程は 3月15日（火）9：00～12：00

後期日程は 3月26日（土）9：00～12：00

に入学手続を行ってください。

※入学手続き書類は、合格通知書とともに合格者あてに送付します。

入学手続日時及び場所

試験日程	手続日時	学部	手続場所
前期日程	3月14日（月） 受付時間 9：00～16：30	工学部	工学部 鳳龍会館 （戸畑キャンパス） 北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332
		情報工学部	情報工学部 講義棟 （飯塚キャンパス） 飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512
後期日程	3月25日（金） 受付時間 9：00～16：30	工学部	工学部 鳳龍会館 （戸畑キャンパス） 北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332
		情報工学部	情報工学部 講義棟 （飯塚キャンパス） 飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512

(2) 留意事項

① 合格した学部によって手続場所が異なるので、間違わないように注意してください。

② 入学を辞退する場合は、入学辞退届〔A4サイズの用紙に、受験番号、氏名、合格学部・学科、辞退理由（「〇〇大学〇〇学部入学のため」等、具体的に記入。）、本学への入学手続を行ったかどうかを記入したもの。〕を本学学長あて（学務部入試課入試実施係気付）に速やかに提出してください。

- ③ 期間内に手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ④ 入学手続には、大学入試センター試験受験票が必要です。紛失した場合には、速やかに大学入試センターに再発行の手続を行ってください。
また、持参による入学手続の際には印鑑が必要です。必ず持参してください。
- ⑤ 入学手続完了者で、平成28年3月までに高等学校等を卒業（修了）できない者は入学できません。
- ⑥ 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する「入学の手引」でお知らせします。
主な提出書類は、卒業証明書、保証書（本学所定用紙）、学生証用写真（縦4cm×横3cm、1枚）等です。

14. 入学手続時の納付金

- ・ 入学料 282,000 円（予定額）
- ・ 諸納金（後援会費、責善会費、明専会費、研修費、学生教育研究災害傷害保険料等）
86,300 円（予定額）

- (注) ① 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 授業料〔前期分・後期分とも各267,900円（予定額）〕については、入学手続時に申請していただく銀行等又はゆうちょ銀行の指定口座から引き落とします。（前期は平成28年4月、後期は平成28年10月の予定。）
- ③ 入学手続を完了した者が、平成28年3月31日までに入学を辞退した場合には、申し出により既納の諸納金相当額を返還します。ただし、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還できません。
- ④ 入学料、授業料及び諸納金については予定額であり、入学手続書類を送付する際に確定額を通知します。
- ⑤ 学費支弁が困難な者に対し、入学料の全額若しくは半額を免除又は徴収を猶予することがあります。
また、経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はその他やむを得ない事由があると認められる場合は、授業料の全額若しくは半額を免除又は徴収を猶予することがあります。（35～36ページ参照）
詳細については、合格者あてに送付する「入学の手引」でお知らせします。

15. 追加合格

- (1) 入学手続完了者が募集人員に満たないときは、他の国公立大学に入学手続を行っていない者を対象として、追加合格を行うことがあります。
- (2) 追加合格を行う場合は、3月28日（月）から3月31日（木）までの間に、入学願書に記載された連絡先の電話番号に連絡しますので、確実に連絡がとれるようにしておいてください。
本学からの電話連絡の際、追加合格候補者が不在等で本人との連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。
なお、電話連絡は、原則として3月28日（月）に行います。
- (3) 追加合格についての電話等による照会には、一切応じられません。
- (4) 出願後に電話番号の変更があった場合は、速やかに届け出てください。

16. 入学試験成績等の開示

平成28年度入学試験に係る受験生の個人成績等の開示を、下記のとおり行います。

開示対象	①入学試験成績 ②出身学校長作成の調査書
開示内容	①入学試験成績 合格者、不合格者を問わず、総合点、大学入試センター試験の合計点（本学配点）、一般入試の科目毎の得点、合格最低点及び順位を開示します。 ②出身学校長作成の調査書 客観的な数字、成績、出席の記録及びクラブ活動等の記録を開示します。ただし、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」等、教員が自由に記述した部分を除きます。
申込期間	平成28年5月2日（月）から平成28年5月31日（火）まで ただし、土・日・祝日は除きます。
請求者	受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認められません。）
申込方法	本学所定の申込用紙を、入試課窓口又はホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/ 、平成28年4月下旬掲載予定）で入手し、九州工業大学受験票（コピー不可）及び受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し392円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号120mm×235mm）を添付のうえ、入試課窓口を持参して申し込んでください。 なお、遠隔地等のため来学が困難な場合は、郵送でも申込みできます。 ただし、郵送の場合は、平成28年5月31日（火）17時まで、到着したものに限り受理します。
開示方法	受付から約20日以内に、受験者本人へ簡易書留郵便で郵送します。
その他	平成27年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

※ 入試情報の開示に関する詳細については、学務部入試課入試実施係（電話：093-884-3056）にお問い合わせください。

17. 個人情報の取扱い

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 入学者選抜で利用した個人情報を、入学後の学籍管理や学習指導等で利用します。
- (2) 高等学校又は中等教育学校の調査書の成績を、1年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
- (3) 入学者選抜で利用した成績等の個人情報を、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。

※ 本学が取得した個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

18. 入学願書等記入要領

- (1) 入学願書等は、前期日程、後期日程及び志望学部で用紙が異なるので注意してください。
- (2) 記入する際は、用紙の太枠内を記入してください。
なお、提出する書類等の※印欄は記入しないでください。
- (3) 記入する際は黒のインク又はボールペンを使用してください（マーク部分についても同様です）。
間違って記入した場合は、間違った部分を二重線で消し、正しい内容が分かるように記入してください。なお、大学入試センター試験成績請求票の受験票コード、受験番号、発行回数を修正する場合は、修正液、修正テープ等で消し、正しく書き直してください。
- (4) 文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。

入学願書

記入にあたっては、記入例①（30ページ）及び記入例②（31ページ）を参照してください。
なお、後期日程入学願書の記入にあたっては、記入例①を参考にしてください。

(1) 平成28センター試験成績請求票

大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」（前期日程に出願する場合は、「前・国公立前期日程用」を、後期日程に出願する場合は、「後・国公立後期日程用」）を願書の所定欄に貼り付け、大学入試センター試験成績請求票の受験票コード、受験番号、発行回数を記入してください。貼り付けていない入学願書は受理できませんので、注意してください。（再発行を受けた者は、再発行後の平成28センター試験成績請求票を貼り付けてください。）

大学入試センター試験成績請求票の受験票コード、受験番号、発行回数は、機械で読み取りますので、枠からはみだしたりしないよう、記入例を参考に正確に記入してください。なお、間違って記入した場合は修正液、修正テープ等で消し、正しく書き直してください。

【記入例】

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 Z - 1

【記入上の注意点】



(2) 氏名・性別及び生年月日

- 氏名は、姓と名の間を1コマ空けて漢字で丁寧に記入し、フリガナを付けてください。フリガナはカタカナで記入してください。
- 性別は該当する欄に○印をつけてください。
- 生年月日を記入してください。

(3) 出願資格

- ・ 高等学校等名、所在都道府県名及び高等学校等を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの年月を記入してください。高等専門学校3年修了（見込み）者は修了年月を記入してください。
なお、高等学校卒業程度認定試験合格者等については、「高校等所在地」欄は出身都道府県、「高校等名」欄は『認定試験合格等』と記入し、その他出願資格の該当する欄に○印をつけてください。

(4) 志望学科

- ・ 志望する学科欄に○印をつけてください。志望学科は第3志望まで記入することができます。ただし、同一学科を重複して志望したり学部間にまたがって学科を志望することはできません。学科を重複して志望した場合は、第2志望以下を「志望しない」として取り扱います。また、出願後の変更は認められません。
なお、学科によって受験科目が異なることがありますので、学科の指定する受験科目に注意してください。
- ・ 第2志望以下を志望しない場合は、志望学科欄の「志望しない」に○印をつけてください。空欄の場合は、志望しないものとみなします。
- ・ 第3志望に限り志望学科をひとつの学科に特定しないことができます。その場合は、第3志望欄の「特定しない」に○印をつけてください。第1志望、第2志望を「特定しない」と選択することはできません。なお、第2志望を「志望しない」と選択し、第3志望を「特定しない」と選択した場合は、第3志望を「志望しない」として取り扱います。

(5) 受験教科・科目（前期日程で情報工学部を志願する者のみ：記入例②参照）

- ・ 理科の科目について、受験を希望する科目欄に○印をつけてください。
知能情報工学科を第1志望とする者は「物理」又は「化学」で、電子情報工学科及び機械情報工学科を第1志望とする者は「物理」で受験しなければなりません。なお、出願後の変更は認められません。
- ・ 入学願書だけでなく受験票にも記入が必要ですので注意してください。

(6) 本人の連絡先等

「緊急時の連絡先」は、「本人の連絡先」欄に記入した住所・電話番号以外で志願者本人と連絡の取れるところを記入してください。（例えば、父母等の勤務先・携帯電話番号等）
なお、追加合格を行う場合は、本人の連絡先に記載された電話番号に連絡をします。

(7) 大学入試センター試験で受験した教科・科目

本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目（10～17ページ参照）を受験しているか、大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（27～29ページ）により各自で必ず確認し、指定されている教科・科目を全て受験していることが確認できたら、入学願書の所定欄に○印を付けてください。

第1志望の学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、本学の個別学力検査を受験することができません。

なお、所定欄に○印を付ける際には、次の点に注意してください。

- ・ 外国語で英語を選択した者は、筆記とリスニングそれぞれについて記入し、リスニングを受験しなかった場合は、その理由も記入してください。大学入試センターの受験特別措置以外の理由によりリスニングを受験しなかった場合、情報工学部は出願できますが、工学部は出願できないので注意してください。
- ・ 地理歴史、公民において、2科目受験した場合は、第1解答科目を記入してください。
- ・ 数学で「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

検定料納入証明書貼付台紙

(1) 検定料納入証明書貼り付け欄

〈ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口で振込む場合〉

本学所定（本要項綴じ込み）の「入学検定料払込用紙（前期日程用または後期日程用）」に記入例③（32ページ）を参照して記入し、ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口で振込みのうえ、「検定料納入証明書（受付局日附印が押されたもの）」を必ず受け取り、検定料納入証明書貼付台紙に貼り付けてください。

〈コンビニエンスストアで支払う場合〉

本学所定（本要項綴じ込み）の「入学検定料払込用紙（前期日程用または後期日程用）」は使用しません。

コンビニエンスストアで支払い、受領した「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料納入証明書貼付台紙に貼り付けてください。

支払い方法の詳細は、コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内（33ページ）を参照してください。

なお、振込みは、1月18日（月）から2月3日（水）までの期間に行ってください。

受験票

(1) 受験教科・科目（前期日程で情報工学部を志願する者のみ）

前期日程で情報工学部を志願する者は、理科について、受験を希望する科目を○で囲んでください。

(2) 志望学科

第1志望の学科を記入してください。

(3) 氏名・フリガナ

氏名は漢字で、フリガナはカタカナで丁寧に記入してください。

(4) 受験票発送先の住所等

受験票の裏面に受験票送付先の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

写真票

(1) 氏名・フリガナ・生年月日

氏名は漢字で、フリガナはカタカナで丁寧に記入してください。また、生年月日を記入してください。

(2) 写真（縦4cm×横3cm）

上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。その際、写真の裏に志望学部及び氏名を記入してください。

受験票交付用返信封筒

(1) 出願日程

前期日程用（青色）・後期日程用（ピンク色）があるので、間違えないようにしてください。

(2) 切手

表面に362円分の切手を必ず貼り付けてください。

大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（工学部）

本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目（10～13ページ参照）を受験しているか、下表により確認をし、指定されている教科・科目を全て受験していることが確認できたら、入学願書の「大学入試センター試験で受験した教科・科目」欄に○印をつけてください。

志望する学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、志望する学科に出願することができません。

なお、「地理歴史」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績は、第1解答科目の得点を用います。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

前期日程

工学部（全学科）

教科	確認欄	科目
国語		国語を受験した
地理歴史 ・公民		世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から 1科目受験した（2科目受験した場合は、第1解答科目として受験した）
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から 1科目を受験した
理科		物理と化学の2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む）、独語、仏語、中国語、韓国語から1科目受験した

（注1）外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。

大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

なお、大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は、出願できません。

（注2）旧教育課程履修者に対する経過措置について

詳細は、9ページの「9.（4）平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

後期日程

工学部（全学科）

教科	確認欄	科目
国語		国語を受験した
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から 1科目を受験した
理科		物理と化学の2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む）、独語、仏語、中国語、韓国語から1科目受験した

（注1）外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。

大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験（100点満点）の得点のみを利用します。

なお、大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は、出願できません。

（注2）旧教育課程履修者に対する経過措置について

詳細は、9ページの「9.（4）平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（情報工学部）

本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目（14～17ページ参照）を受験しているか、下表により確認をし、指定されている教科・科目を全て受験していることが確認できたら、入学願書の「大学入試センター試験で受験した教科・科目」欄に○印をつけてください。

志望する学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、志望する学科に出願することができません。

なお、「地理歴史」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績は、第1解答科目の得点を用います。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

前期日程

情報工学部（知能情報工学科，生命情報工学科）

教科	確認欄	科目
国語		国語を受験した
地理歴史 ・公民		世界史B，日本史B，地理B，「倫理，政治・経済」から 1科目受験した（2科目受験した場合は，第1解答科目として受験した）
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理科		物理，化学，生物，地学から2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

情報工学部（電子情報工学科）

教科	確認欄	科目
国語		国語を受験した
地理歴史 ・公民		世界史B，日本史B，地理B，「倫理，政治・経済」から 1科目受験した（2科目受験した場合は，第1解答科目として受験した）
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理科		物理と化学の2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

情報工学部（システム創成情報工学科，機械情報工学科）

教科	確認欄	科目
国語		国語を受験した
地理歴史 ・公民		世界史B，日本史B，地理B，「倫理，政治・経済」から 1科目受験した（2科目受験した場合は，第1解答科目として受験した）
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理科		物理の1科目 化学，生物から1科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

（注1）外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。

リスニングを受験しなかった者については、リスニングは0点とし、筆記試験のみの成績を利用します。

なお、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験のみの成績を200点満点として利用します。

（注2）旧教育課程履修者に対する経過措置について

詳細は、9ページの「9.（4）平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

後期日程

情報工学部（知能情報工学科，生命情報工学科）

教 科	確認欄	科 目
国 語		国語を受験した
数 学		数学Ⅰ・数学Ⅱの1科目 数学Ⅲ・数学Ⅳ，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理 科		物理，化学，生物，地学から2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

情報工学部（電子情報工学科）

教 科	確認欄	科 目
国 語		国語を受験した
数 学		数学Ⅰ・数学Ⅱの1科目 数学Ⅲ・数学Ⅳ，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理 科		物理と化学の2科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

情報工学部（システム創成情報工学科，機械情報工学科）

教 科	確認欄	科 目
国 語		国語を受験した
数 学		数学Ⅰ・数学Ⅱの1科目 数学Ⅲ・数学Ⅳ，簿記・会計，情報関係基礎から 1科目を受験した
理 科		物理の1科目 化学，生物から1科目受験した
外国語		英語（リスニングを含む），独語，仏語，中国語，韓国語から1科目受験した

（注1）外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。

リスニングを受験しなかった者については，リスニングは0点とし，筆記試験のみの成績を利用します。

なお，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については，筆記試験のみの成績を，200点満点として利用します。

（注2）旧教育課程履修者に対する経過措置について

詳細は，9ページの「9.（4）平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

《記入例①》

平成28年度 九州工業大学入学願書 前期日程 (工学部)

※ 試験区分	※ 学部コード	※ 受験番号
11	1	

(注1) 24ページの記入要領を熟読の上記入してください。
 (注2) ※印のある項目欄は記入しないでください。
 (注3) 枠から、はみ出ないように記入してください。

フリガナ	トバタ タロウ	性別	生 年 月 日					
氏 名	戸 畑 太 郎	男	女	昭和	平成	年	月	日
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9	7	3 1

出願資格	高 等 学 校 等 名							昭和	平成	年	月	卒 業	
	福岡 都道府県	国立 公立 私立	工大高等 学校				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2 8	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	卒業見込
			その他の出願資格 (該当者は右のいずれかに○をしてください)		外国の学校等	在外教育施設	専修学校高等課程						
			文部科学大臣が指定した者	高卒認定試験・大検	高専3年修了・その他								

志望学科	機械知能	建設社会	電気電子	応用化学	マテリアル	総合システム	志望しない	特定しない
第1志望	<input type="radio"/>							
第2志望			<input type="radio"/>					
第3志望							<input type="radio"/>	

平成28センター試験成績請求票

**平成28センター試験
成績請求票**

志望する学科に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 - 7 8 9 0 Z - 1

試験場コード, 受験番号, 発行回数を成績請求票のとおり記入してください。

※受験教科	数学	理科
-------	----	----

※ 評定平均値	※ 概評

本人の連絡先	〒 804 - 8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 電話番号 (093) 884 - 3056 携帯番号 (090) XXXX - XXXX			
緊急時の連絡先	氏 名	戸 畑 三 郎	志願者との続柄	父
	住 所	〒 804 - 8550 福岡県北九州市〇〇〇 電話番号 (093) □□□ - 〇〇〇〇 携帯番号 (090) XXXX - △△△△		

大学入試センター試験で受験した教科・科目														受験上の配慮による免除	その他	
国語	地理歴史, 公民			数学				理科		外国語						
国	世	日	地	倫	数	数	簿	情	工	物	化	英	ド			フ
語	界	本	理	理	学	学	記	報	業	理	学	筆	ス	ラ	国	国
	史	史	政治・経済	政治・経済	I・数学A	II・数学B	計	関	教	学	学	リスニング	ン	ス	語	語
	B	B	B	B	A	B		係	理	理	理	グ	ス	語	語	語
					A	B		基	基	学	学					
								礎	礎	学	学					
								礎	礎	学	学					

(注1) 大学入試センター試験で受験した教科・科目に○をつけてください。
 (注2) 旧教育課程履修者に対する経過措置科目で受験する場合は、9ページの「9.(4)平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

英語選択者で、リスニングテストを受験しなかった場合は、その理由に○をつけてください。

《記入例②》

平成28年度 九州工業大学入学願書 前期日程 (情報工学部)

※ 試験区分	※ 学部コード	※ 受験番号
11	3	

(注1) 24ページの記入要領を熟読の上記入してください。
 (注2) ※印のある項目欄は記入しないでください。
 (注3) 枠から、はみ出ないように記入してください。

フリガナ	イツカ	サクラ	性別	生年月日					
氏名	飯塚	さくら	男	女	昭和	平成	年	月	日
			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			9	8	20

出願資格	高等学校等名								昭和	平成	年	月	卒業	
	福岡	都道	国立	工大高等				学校	<input type="radio"/>	2	8	3	<input type="radio"/>	卒業見込
		府(県)	公立					私立						
その他の出願資格(該当者は右のいずれかに○をしてください。)				外国の学校等		在外教育施設		専修学校高等課程						
				文部科学大臣が指定した者		高卒認定試験・大検		高専3年修了・その他						

志望学科	知能情報	電子情報	システム創成情報	機械情報	生命情報	志望しない	特定しない
第1志望		<input checked="" type="radio"/>					
第2志望	<input checked="" type="radio"/>						
第3志望							<input checked="" type="radio"/>

平成28センター試験成績請求票

平成28センター試験
成績請求票

志望する学科に○をつけてください。

123456-7890Z-1

試験場コード, 受験番号, 発行回数を成績請求票のとおり記入してください。

受験教科・科目	数学	理科		
		物理	化学	生物
		<input checked="" type="radio"/>		

理科の受験を希望する科目に○をつけてください。
 なお、知能情報工学科を第1志望とする場合は「物理」又は「化学」を、電子情報工学科及び機械情報工学科を第1志望とする場合は「物理」を選択しなければなりません。

※ 評定平均値	※ 概評

本人の連絡先	〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4 電話番号(0948) 29-7512 携帯番号(090) XXXX-XXXX			
緊急時の連絡先	氏名	飯塚 太郎	志願者との続柄	父
	住所	〒820-8502 福岡県飯塚市〇〇〇 電話番号(0948) □□□-〇〇〇〇 携帯番号(090) XXXX-△△△△		

大学入試センター試験で受験した教科・科目																			
国語	地理歴史, 公民			数学				理科				外国語							
国	世	日	地	倫	数	数	簿	情	工	物	化	生	地	英	ド	フ	中	韓	
語	界	本	理	理	学	学	記	報	業	理	学	物	学	筆	リス	ラン	国	国	
	史	史		政治・経済	I・数学A	II・数学B	会	関	教	学	学	学	学	記	ニ	ス	語	語	
	B	B	B				計	係	理	理	理	理	理	グ	ン	ス	語	語	
					○	○				○	○			○	○				

(注1) 大学入試センター試験で受験した教科・科目に○をつけてください。
 (注2) 旧教育課程履修者に対する経過措置科目で受験する場合は、9ページの「9.(4)平成28年度における旧教育課程履修者に対する経過措置」を参照してください。

英語選択者で、リスニングテストを受験しなかった場合は、その理由に○をつけてください。

コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON **Loppi** **ミニストップ** **Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



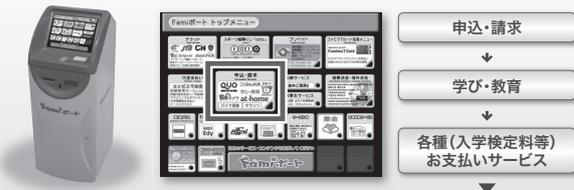
「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなただと、コンビニに、
FamilyMart **Famiポート**

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

カルワザステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票** / **申込券** / **受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi,Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi,Famiポート)を受け取ってください。

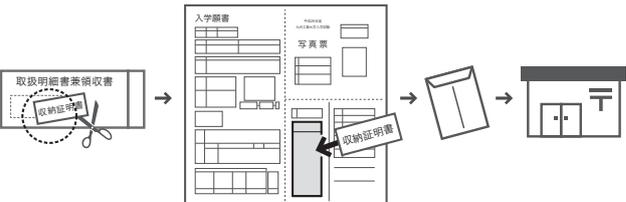
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------



3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、願書の「**検定料納入証明書等貼り付け欄**」に貼り付け、郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【入試に関するお問合わせ先】 九州工業大学 学務部入試課 TEL 093-884-3056 / 工学部(工学部教務係) TEL 093-884-3332
情報工学部(情報工学部教務係) TEL 0948-29-7512
(受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 *土日・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> *コンビニ店頭ではお応えできません。

19. 入学試験に関する問い合わせ先

入学試験に関する照会については、月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く。）の8時30分から17時15分までの間に、下記に問い合わせてください。

なお、電話による問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

（問い合わせ先）

九州工業大学学務部入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056

※不測の事態発生時等における諸連絡について

災害等における不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については、本学のホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）等により周知しますので、注意してください。

また、不測の事態等（大規模な災害・交通機関の遅延等）により受験できない恐れのある者は、上記の問い合わせ先に連絡してください。

20. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

URL: <http://www.kyutech.ac.jp/exchange/international/anpo/>

21. 志願状況

本学では、志願状況について平成28年1月27日（水）から本学のホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）でお知らせする予定です。

なお、これらのページの更新時刻は、毎日（土・日・祝日は除く。）19時頃の予定です。

Ⅱ. 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、入学手続き完了者がなお各学科の入学定員に満たず、必要と認める場合には、欠員補充第2次募集を行います。

なお、募集を行う学部・学科は、平成28年3月28日（月）以降に発表しますので、本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）で確認してください。

◆奨学金制度等

○奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体などの奨学金があります。本学でこれらの奨学金を受けている者は、在学生の約56%に達しています。

なお、日本学生支援機構奨学金は、第一種奨学金（無利息）と第二種奨学金（利息付）の2種類の制度があります。

（平成27年4月1日現在）

種 別	貸 与 月 額
第一種奨学金	自宅通学 3万円又は4万5千円 自宅外通学 3万円、4万5千円又は5万1千円）の中から 学生が選択
第二種奨学金	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の中から学生が選択

○入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料免除の取扱い

（1）入学料の免除

① 免除の対象となる者

次のいずれかに該当する特別な事情により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合

- (ア) 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- (イ) (ア)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
- (ウ) 強い社会的要請があり、特段の配慮が必要であると学長が認める者

② 免除の申請

入学料免除申請を希望する者は、合格通知書とともに送付する「入学の手引」に記載の「入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について」を熟読し、申請資格を確認したうえで手続きを行ってください。

③ その他

- (ア) 入学料免除願を受理された者は、免除の許可・不許可が決定する（5月中旬頃）まで入学料の納付を猶予します。
- (イ) 選考の結果、不許可又は半額免除の決定がなされた場合は、その決定後、14日以内に入学料（半額免除の場合は半額）を納付することになります。

（2）入学料の徴収猶予

入学手続きまでに経済的理由により入学料の納付が困難な者については、入学料の納付を延期することができる制度があります。

(3) 授業料の免除

次のいずれかに該当する者で、授業料の納付が著しく困難と認められる者について、各期ごとの授業料の全額又は半額を免除することがあります。

① 免除の対象となる者

- (ア) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (イ) 授業料の各期ごとの納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
- (ウ) (イ)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者
- (エ) 強い社会的要請があり、特段の配慮が必要であると学長が認める者

② 免除の申請

授業料免除申請を希望する者は、合格通知書とともに送付する「入学の手引」に記載の「入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について」を熟読し、申請資格を確認したうえで手続きを行ってください。

○九州工業大学独自の学生支援事業

学長表彰「鳳龍奨学賞」

本学独自の学生支援事業として、「鳳龍奨学賞」を設けています。この制度は、全学年にわたる学習意欲のより一層の向上及び経済的支援を図ることを目的としています。

「鳳龍奨学賞」には、以下のとおり最優秀賞、優秀賞及び努力賞があります。

種類	対象者	受賞者数	支給額等	対象となる学生
最優秀賞	4年次生	22名	表彰状及び4年次における1年間の授業料全額免除	1年次から3年次までの3年間における学業成績が優秀な学生
優秀賞	3年次生	22名	表彰状及び奨学金 100,000 円	前の学年での1年間における学業成績が優秀な学生
	2年次生	22名		
努力賞	3年次生	22名	表彰状及び奨学金 50,000 円	2年次終了時の過去1年間における学業成績の伸びが顕著な学生

○奨学金・入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問合せ先

担当窓口：学務部学務課 電話 093-884-3050

◆各学部のアドミッションポリシー

工 学 部

【技術者としての育成目標】

「ものづくり」をキーワードとして機械知能工学科，建設社会工学科，電気電子工学科，応用化学科，マテリアル工学科，総合システム工学科の6学科それぞれの分野で，科学と技術における習熟した専門知識や自然，社会，文化などに対する深い見識を育みます。それらを基礎として，アイデアにあふれた「ものづくり」ができる豊かな感性と幅広い教養，更に国際的視野を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような意欲的な学生を求めます。

1. 科学と技術に対する旺盛な好奇心を持ち，その基礎学力を持った人。
2. ものづくりに興味があり，高い倫理観，豊かな感性と教養を持ち社会貢献しようとする人。
3. 工学における高度で幅広い知識への学習意欲と問題解決の実践に情熱を持っている人。
4. 自らの考えを伝えることができ，さまざまな考えの人たちともコミュニケーションできる人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

本学部での授業内容を理解するためには，数学，理科の教科・科目が特に重要です。数学については，数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修しておくことが望まれます。理科については，物理基礎・物理，化学基礎・化学を履修しておくことが望まれます。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル化時代に対応するため，国語，外国語(特に英語)，社会などの文科系科目やその他各高等学校等が定める教育課程表に従い，すべての教科と科目について，基礎知識を習得していることが望まれます。

【前期日程試験による受け入れ】

大学入試センター試験と個別学力検査により総合的に優れた能力を示す学生を受け入れます。そのため，大学入試センター試験では，国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の5教科7科目を課し，これまで身につけた幅広い基礎学力とその到達度を見ます。更に，個別学力検査では，入学後の工学専門教育の勉学に不可欠な数学及び理科(物理と化学)を課し，思考力，計算力及び論述力を評価します。

【後期日程試験による受け入れ】

大学入試センター試験と個別学力検査との総合成績により，数学もしくは理科の特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。そのために，大学入試センター試験では，国語，数学，理科，外国語の4教科6科目を課し，これまで身につけた基礎学力とその到達度を見ます。更に，個別学力検査では，入学後の工学専門教育の勉学に不可欠な数学もしくは理科を課し，思考力，計算力及び論述力を評価します。

機械知能工学科

【技術者としての育成目標】

機械工学，宇宙工学，知能制御工学の3コースで構成され，カリキュラムは講義科目と実験科目を体系的に組み合わせた実践的な内容となっています。身の回りで起こる様々な自然現象を支配する原理や力学法則を理解し，その知識を活用して人類の幸福や自然・地球・宇宙との共生に役立つ「もの」をつくることができ，また広い視野を持って時代の変化に柔軟に対応できる能力を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

機械・宇宙・制御工学に興味を持つ，次のような意欲的な学生を求めます。

1. 数学，理科などに興味を持ち，それらの基礎学力を身につけている人。
2. 好奇心を持って能動的に勉学に取り組む意欲がある人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 倫理観を身につけ，チャレンジ精神に満ちた技術者を目指す人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

本学科のカリキュラムは，多岐にわたる専門の講義科目と，それらをより深く理解するための実験科目からなっており，グローバル化時代に対応できるコミュニケーション能力の育成も重視しています。このため高校では数学，物理の基礎を確実に修得しておくことが重要であり，更にコミュニケーション能力の研鑽に向けて，語学系はもちろん，社会系，倫理系に関する教科・科目を履修しておくことが望まれます。

建設社会工学科

【技術者としての育成目標】

土木工学系，建築学系よりなる建設社会工学の技術を学ぶ学科です。「豊かな生活空間及び都市・建築の創造」「災害に強い社会基盤の建設と運用・維持管理」に関する知識・技術を習得し，安心と豊かさを実感できる国土，及び安全快適で環境と調和した社会基盤施設や建築物をつくれる，人間性豊かな技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

建設工学分野に興味を持つ，次のような意欲的な学生を求めます。

1. 数学，理科などに興味を持ち，それらの基礎学力を身につけている人。
2. 好奇心を持ち能動的に勉学に取り組む意欲がある人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 倫理観を身につけ，チャレンジ精神に満ちた技術者を目指す人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

本学科の教育内容を習得する上で，数学，物理，化学などの理数系科目の基礎学力を十分に身につけておくことが望まれます。また，自然現象や社会現象を解き明かし，分かりやすく説明するコミュニケーション・プレゼンテーション能力や社会のグローバル化に向けた能力としての国語，英語，社会などの教科・科目を履修しておくことが望まれます。

電気電子工学科

【技術者としての育成目標】

電気工学，電子工学の2コースで構成され，カリキュラムは講義科目と実験科目を組み合わせた実践的な内容となっています。電気エネルギーの高度利用によって環境調和型社会の形成に貢献できる次世代の電気電子技術に通じた新しい時代の要請に応える創造性豊かな技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような意欲的な学生を求めます。

1. 電気電子工学を学んでいくための基礎となる数学，理科などに興味を持ち，それらの学力を身につけている人。
2. 電気電子工学分野に興味を持ち能動的に勉学に取り組む意欲がある人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 倫理観を身につけ，チャレンジ精神に満ちた電気電子工学技術者を目指す人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

電気電子工学を学ぶ上で電磁気学，電気回路，電子回路，コンピュータ関連科目などは特に重要な科目です。それらを理解する上で基礎となる数学，理科(特に物理)の各教科・科目を高校で履修しておくことが望めます。また，本学科ではグローバル化時代に対応できるコミュニケーション能力を重視しています。そのため，高校では，国語と英語の各科目をしっかりと習得しておくことが望めます。

応用化学科

【技術者としての育成目標】

高度な機能を有する新物質の設計と合成，新素材，新材料の創製，これらの高度生産技術・システムの開発を通じて，環境・エネルギー・ナノテク・情報システム・バイオ・ケミカルエンジニアリング等の先端技術の根幹を支える「応用化学」の基本を習得し，環境調和型未来社会へ貢献できる技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

化学に興味を持つ，次のような意欲的な学生を求めます。

1. 数学，理科などに興味を持ち，それらの基礎学力を身につけている人。
2. 好奇心を持ち能動的に勉学に取り組む意欲がある人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 倫理観を身につけ，チャレンジ精神に満ちた技術者を目指す人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

入学後はグローバル化時代に対応できるようにコミュニケーション力，英語力向上にも重点をおいて教育を行います。化学の骨格を形成する有機化学，無機化学，物理化学，化学工学の各基礎教育分野など理解する上で基礎となる数学，物理，化学を入学までに修得しておくことが望めます。

マテリアル工学科

【技術者としての育成目標】

マテリアル工学は、鉄鋼、合金、半導体、セラミックス、複合材料など「もの」の性能を決定するマテリアルの構造と性質を科学的に解明し、新しいマテリアルを設計、製造して応用展開する基盤技術の根幹を成す学問領域です。高度な材料開発とともに、資源、リサイクル、エネルギー問題にも取り組むことができる技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

物質・材料工学分野に興味を持つ、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 数学、理科などに興味を持ち、それらの基礎学力を身につけている人。
2. 好奇心を持ち能動的に勉学に取り組む意欲がある人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 倫理観を身につけ、チャレンジ精神に満ちた技術者を目指す人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

高等学校で修得する基礎的な科目の知識を有し、十分に理解しておく必要があります。科学的な視点と考え方を学ぶ数学、物理、化学などの基礎科目、様々な自然現象や原理を正確に表現するための国語、グローバル社会で活躍するための英語の教科・科目を高校で履修しておくことが望まれます。

総合システム工学科

【技術者としての育成目標】

機械工学と電気電子工学及び本分野を支援する数学・物理学・情報科学を修得し、次世代の自動車、ロボット、精密機械、宇宙、重工業、鉄鋼、金属、電力、デジタル家電、半導体、コンピュータなど時代をリードする先端分野において活躍するための知識と能力をもち、社会の要請をキャッチしてそれに応えられる「ものづくり」ができ、世界的な視点に立って先端産業で活躍する高度技術者・研究者の育成を目指しています。

【求める学生】

種々のシステム工学分野に興味を持つ、次のような学生を求めます。

1. 数学、理科を得意とし、それらの基礎学力を身につけている人。
2. 能動的に勉学に取り組む意欲があり、チームの中でも協調して課題に取り組める人。
3. 自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲のある人。
4. 先端分野に取り組み、新たな産業の創造にも寄与したいと考える人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

1・2年時には、数学・物理学・情報科学を中心に工学の基礎科目、3・4年時には機械工学と電気電子工学を中心に複数の工学専門科目を学びます。また実験、演習や少人数チームで課題に取り組むPBL科目（課題解決型学習、1年次から3年次まで学年毎に異なる科目を設定）を通して工学分野の間のつながりも体得します。このような課程に円滑に取り組めるように、理数系科目、特に、数学、物理学、化学についての教科・科目を高校で履修しておくことが望まれます。

情報工学部

【技術者としての育成目標】

「情報」を基軸とする科学技術分野において高度な専門技術を身に付けた人材を養成します。そのため、情報化社会をリードし、今後の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎技術力と、先端的な技術開発に対応できる専門技術力を兼ね備えられるよう、教育を行います。さらに、「技術に堪能なる土君子」という本学の基本理念のもとに、幅広い教養や豊かな人間性、技術者としての高い倫理観、そして世界に通用するコミュニケーション能力を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のように大きな可能性を秘めた学生を求めます。

1. 情報工学並びに関連する理工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を有する人。
2. 科学と技術、特に情報工学及びそれを用いて電子工学、システム創成工学、機械工学、生命工学などの問題解決を行うことに強い関心と意欲を持つ人。
3. 豊かな感性と高い倫理観、そして十分なコミュニケーション能力を備えた人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

数学については、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修しておくことが望まれます。理科については、学科により若干異なりますが、物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物のうち複数科目を履修しておくことが望まれます。また、外国語については将来英語の文献を読むように、国語については将来論文や報告書を書けるように、その他の教科・科目については将来様々な問題解決を行えるように、それぞれに必要な基礎としての教科・科目を、高校等で履修しておくことが望まれます。

【前期日程試験による受け入れ】

総合的に学力の優れた学生を受け入れます。そのために、大学入試センター試験において、外国語、数学、理科、国語、地理歴史・公民の5教科すべてについて幅広く基礎学力を測るとともに、数学、理科の2教科については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力もあわせて確かめます。このように前期日程試験では、幅広い教科・科目に対する基礎学力を評価します。

【後期日程試験による受け入れ】

修学に必要な基礎学力を備え、特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。そのために、大学入試センター試験において基礎学力を測る対象は、地理歴史・公民を除いた外国語、数学、理科、国語の4教科とするとともに、個別学力検査については、数学、物理、化学のうちから1科目のみを選択させることによって、特定の科目について高い思考力を有するかどうかを重視します。このように後期日程試験では、特定の分野で専門性を発揮できる可能性を評価します。

知能情報工学科

【技術者としての育成目標】

コンピュータサイエンスの基礎理論から要素技術、システム構築に至る幅広い知識を習得することで、人とコンピュータが協調する新しい情報技術を実現でき、社会の様々な要求に応える情報システムを構築できる高度な技術者の育成を目指しています。また、技術の能力に加えて、豊かな国際性、社会性、人間性ととも広い視野と教養や外国語を含めた高いコミュニケーション能力、技術に対する倫理や法規を理解して責任ある社会的行動をとることができる能力を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

知能情報工学に興味を持つ、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 科学技術全般への強い関心を持ち、数学、理科、外国語を中心とした基礎的な学力を有する人。
2. 自分で問題を発見しそれを論理的に考えて解決できる能力を持つ人。
3. 情報技術や科学技術によって広く社会に貢献したいという強い意欲を持つ人。
4. 「人とコンピュータが協調する新しい情報技術を身に付ける」ために、粘り強く考えられる人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

学部全体のポリシーと同様に、数学については、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修していること、理科については、物理基礎・物理、化学基礎・化学等を履修していることが望まれます。本学科は情報の専門学科ですが、高校の情報については、高校における通常の履修で問題ありません。他の理工系の分野と同じく、情報分野でも、重要な論文や技術文書の多くは英語で書かれています。そのため、英語については、将来それらを読むための基礎となる科目を高校で履修しておくことが望まれます。

電子情報工学科

【技術者としての育成目標】

エレクトロニクス、コンピュータ・LSI、ネットワーク・システムの3分野にまたがる学問領域について、基礎理論から実践力までをバランスよく習得し、高度な情報化システムを創造できる新しい時代の高度技術者の育成を目指します。また、国際性、社会性、人間性ととも広い視野と教養を持ち、技術に対する倫理や法規を理解した責任ある社会的行動ができ、日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を備えることによって、社会の様々な要求に応えることのできる高度な技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような学生を求めます。

1. 電子装置や情報システムなどに強い関心を有し、それにより社会に貢献したいという意欲を持つ人。
2. 数学、理科、外国語を中心とした基礎的な学力を有する人。
3. 自分で問題を発見しそれを論理的に考えて解決できる能力を有する人。
4. 新しいことへの興味を持って積極的に勉学を進めたいという意欲を持っている人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

本学科の重要科目である、電磁気学、電気回路、電子回路、コンピュータなどを理解する上で基礎となる、数学及び物理を入学までに確実に修得しておくことが望まれます。そのため、学部全体のポリシーと同様に、数学については、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修していること、理科については、物理基礎・物理、化学基礎・化学を履修していることが望まれます。他の理工系の分野と同じく、電子情報分野でも、重要な論文や技術文書の多くは英語で書かれています。そのため、英語については、将来それらを読むための基礎となる科目を高校で履修しておくことが望まれます。

システム創成情報工学科

【技術者としての育成目標】

理論と技術の両面から情報科学の基礎、及び、制御・数理・物理の基礎工学を学びます。これらと並行して、単に知識や技術を習得するだけではなく、将来実社会で直面する未知の問題を解決できる応用能力を身につけるための「創成教育」を通して、システムを創成できる能力を身につけます。情報科学を基盤としてシステム理論を身につけ、高度情報化社会を支える自然環境と人とに優しい知的人工システムを創成できる、独創性と人間力に富んだ高度技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような学生を求めます。

1. 情報技術や科学技術に深い関心を持つと同時に、技術と、人間、社会、自然との関わりにも関心を持っている人。
2. ロボット製作のように、要素技術を統合してシステムを構築することに強い関心を持っている人。
3. 物事をじっくり考えることが好きで、物事の問題点を発見したり、問題点の解決法を考えたりすることに興味がある人。
4. 新しいことへの興味を持って積極的に勉学を進めたいという意欲を持っている人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

学部全体のポリシーと同様に、数学については数学Ⅲ及び数学Bまでを履修しておくことが望まれます。理科については、本学科では特に物理を重要視しているため、物理基礎・物理は是非とも履修し、さらに、化学基礎・化学か生物基礎・生物のいずれかを履修しておくことが望まれます。情報の科目については、通常の履修で十分です。外国語、国語、その他の教科・科目についても、学部全体のポリシーと同様に、高校で履修しておくことが望まれます。

機械情報工学科

【技術者としての育成目標】

情報工学と機械工学の双方の基礎理論と応用技術を習得し、コンピュータとメカを融合した新しい機械情報技術を創出できる総合的な能力を身につけた高度技術者の育成を目指しています。特に、理解力、思考力、コミュニケーション能力、デザイン構想力、問題解決能力、論理的表現力等を総合的に備え、世界の様々な国の歴史、文化、習慣、価値観を背景とした技術の役割と倫理的責任を理解し、人類の幸福と国際協調に貢献できる協調性とリーダーシップ能力のある技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような学生を求めます。

1. 情報と機械を融合した新しい技術に強い関心があり、人類の幸福と国際協調に貢献することへの意欲がある人。
2. 数学、物理、外国語に対する基礎的な学力を有し、修学を続けるための意欲や能力を備えている人。
3. コミュニケーション能力、協調性、リーダーシップ能力を向上させようとする意欲のある人。
4. 国際社会と文化に興味と関心を持ち、幅広い教養を身につけていく心構えのある人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

学部全体のポリシーと同様に、数学については、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修していること、理科については、物理基礎・物理、化学基礎・化学等を履修していることが望まれます。本学科のカリキュラムは、機械と情報に関する基礎と応用からなる科目を、体系的に組み合わせたものです。そのため、大学で履修するこれらの科目の基礎となる、数学、物理の科目を入学までに確実に習得することが重要です。他の理工系の分野と同じく、機械情報分野でも、重要な論文や技術文書の多くは英語で書かれています。そのため、将来それらを読むために必要な英語の基礎を高校で履修しておくことが望まれます。

【技術者としての育成目標】

生命科学・情報科学及び情報処理技術を組み合わせ、化学・食品・製薬などの分野に加え、医療・環境・エネルギーなどの新規産業創出に貢献する新しい学際分野、生命情報工学に関する、様々な社会の要求に応えることのできる新しい時代の技術者の育成を目指しています。また、論理的な思考能力と国際的なコミュニケーション能力を備え、バイオ技術や情報化が自然や社会に及ぼす影響に深い関心を持ち、責任ある社会活動のできる技術者倫理を身に付けた高度な技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

生命情報工学に興味を持つ、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 科学技術全般への強い関心を持ち、数学、理科、外国語を中心とした基礎的な学力を有する人。
2. 自分で問題を発見し、それを論理的に考えて解決できる能力を持つ人。
3. 情報技術あるいは科学技術によって社会に貢献したい、あるいは世界をより良くしたいという強い意欲を持つ人。
4. 「生命科学・情報科学および情報処理技術を融合させた生命情報工学を身に付け応用する」ために、粘り強く考えることが好きな人。

【高校で履修しておくことが望まれる教科・科目】

学部全体のポリシーと同様に、数学については、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修していること、理科については、物理、化学、生物のうち複数科目を履修していることが望まれます。本学科の重要科目である、生命科学、生物工学、バイオインフォマティクス、情報工学などを理解する上で基礎となる、数学及び物理、化学、生物の理科複数科目を入学までに確実に修得しておくことが望まれます。生命科学や情報科学の分野では、重要な論文や技術文書の多くは英語で書かれています。そのため、英語については、将来それらを学ぶための基礎となる科目を高校で履修しておくことが望まれます。

◆過去3か年の一般入試実施状況

【前期日程】

年度 募集人員等 学部・学科		平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
工学部	機械知能工学科	63	208	201	71	71	63	177	169	67	66	63	189	179	70	68
	建設社会工学科	38	103	97	42	39	38	78	76	42	42	38	96	90	45	42
	電気電子工学科	60	126	124	69	66	58	130	123	66	64	58	91	88	70	67
	応用化学科	35	100	98	39	39	35	83	76	38	38	35	58	56	39	36
	マテリアル工学科	30	45	45	35	34	30	65	60	33	32	30	49	46	32	32
	総合システム工学科	22	54	50	28	28	22	46	43	26	23	22	44	43	28	28
	小計	248	636	615	284	277	246	579	547	272	265	246	527	502	284	273
情報工学部	知能情報工学科	46	126	122	51	49	46	138	132	51	51	48	173	169	53	51
	電子情報工学科	46	130	124	50	50	47	118	114	50	48	47	114	104	51	49
	システム創成情報工学科	36	124	117	41	41	36	73	69	40	40	36	79	75	40	36
	機械情報工学科	36	73	69	41	39	36	86	84	42	42	36	95	91	44	44
	生命情報工学科	40	102	97	45	40	40	102	100	45	43	40	83	82	45	40
	小計	204	555	529	228	219	205	517	499	228	224	207	544	521	233	220
合計	452	1,191	1,144	512	496	451	1,096	1,046	500	489	453	1,071	1,023	517	493	

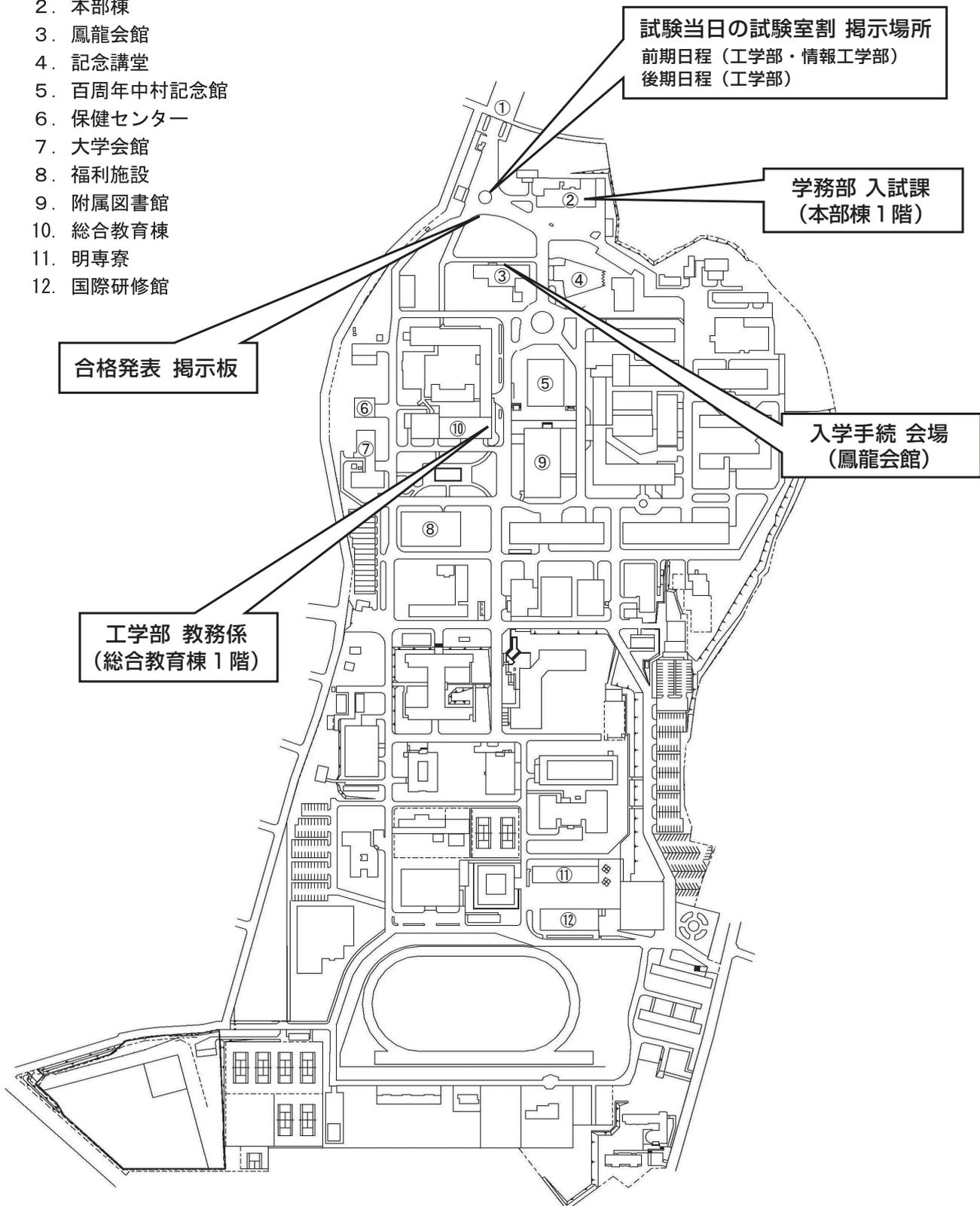
【後期日程】

年度 募集人員等 学部・学科		平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
工学部	機械知能工学科	56	322	161	68	61	56	312	143	66	53	56	261	119	66	49
	建設社会工学科	32	194	104	40	33	32	147	72	35	29	32	131	54	37	26
	電気電子工学科	40	230	106	47	34	44	174	72	53	43	44	121	47	45	29
	応用化学科	20	180	78	29	21	20	163	69	25	21	20	101	40	28	22
	マテリアル工学科	18	88	42	21	19	20	92	37	22	20	20	75	37	22	19
	総合システム工学科	17	101	47	17	13	17	77	40	21	16	17	43	16	18	13
	小計	183	1,115	538	222	181	189	965	433	222	182	189	732	313	216	158
情報工学部	知能情報工学科	24	159	70	28	21	24	149	65	28	19	22	148	75	27	23
	電子情報工学科	24	204	94	29	24	24	160	84	30	24	24	171	72	30	24
	システム創成情報工学科	22	121	62	26	17	22	76	41	27	20	22	85	39	29	20
	機械情報工学科	24	167	87	30	23	24	134	73	29	25	24	86	40	26	18
	生命情報工学科	22	208	99	32	23	22	129	58	31	18	20	104	61	34	19
	小計	116	859	412	145	108	116	648	321	145	106	112	594	287	146	104
合計	299	1,974	950	367	289	305	1,613	754	367	288	301	1,326	600	362	262	

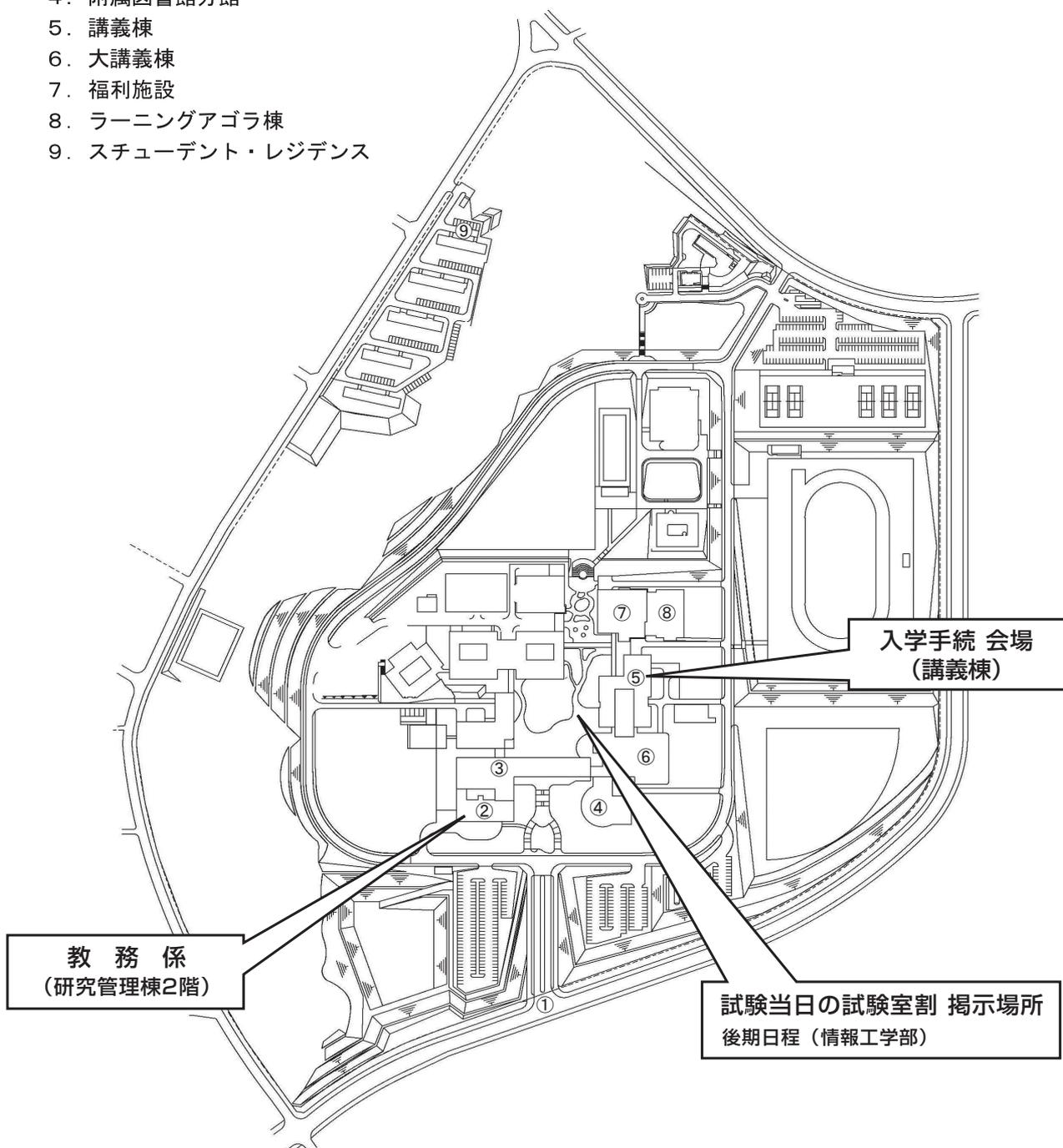
工学部（戸畑キャンパス）

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

1. 正門
2. 本部棟
3. 鳳龍会館
4. 記念講堂
5. 百周年中村記念館
6. 保健センター
7. 学生会館
8. 福利施設
9. 附属図書館
10. 総合教育棟
11. 明専寮
12. 国際研修館



1. 正 門
2. 研究管理棟
3. 共通教育研究棟
4. 附属図書館分館
5. 講義棟
6. 大講義棟
7. 福利施設
8. ラーニングアゴラ棟
9. スチューデント・レジデンス



九州工業大学

学務部入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056